

2004年度東北大学法科大学院入学試験

出題趣旨

科目名：公法（70分）

#### 第1問

本問は、憲法の保障する基本的人権のうち、経済的自由権に属する「営業の自由」の意義、性質および違憲審査基準について、具体的な事例との関係で論じさせる問題である。

とくに、消極的規制と積極的規制の二分論についての正確な理解が試される。

小問(a)では、いわゆる「営業の自由」論争を踏まえて、独占禁止法による私的独占の規制をどのように位置づけるのかが、問われる。小問(b)では、最高裁の戦後初期と最近の距離制限規定合憲判決相互における理由付けの変化をどのようにとらえるのかが、問われる。

小問(c)では、酒税保全のための酒類販売免許制を規制目的二分論とどのように関連づけるかが、問われる。

#### 第2問

本問は、「行政法の基本的な知識や理解を問う平易な出題」を行うとの観点から作成した問題であり、行政法を既に学んでいる者であれば誰でも解答でき、また知っていなければならない事項について尋ねたもの。少なくとも、訴訟類型（取消訴訟中心・無名抗告訴訟の扱い）と訴訟要件（処分性・原告適格など）に触れる必要があるが、そのほか、仮の救済（執行停止制度）等への言及があれば尚良い。